

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 10月～ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第61回 国民体育大会 (のじぎく兵庫国体) 水泳 成年男子30歳以上 50mバタフライ	優勝	H18.10.2	糸井 統 (県岐阜商業高校教諭)		予選は2組2着の25秒64と、余裕をもって通過した。決勝では見事なラストスパートを決め、自己ベストを0秒09更新する大会新をマークして5連覇を成し遂げた。(兵庫県：尼崎の森中央緑地スポーツ健康推進施設)
水泳 成年男子30歳以上 200mメドレー	第2位	H18.10.3	岐阜選抜 糸井統 久貝 糸井紀 末次		序盤3位につけた県選抜は、第3泳者・バタフライの糸井統が力泳して2位に順位を上げた。最終泳者・自由形の末次が首位を追い上げたが、約1秒及ばず2位でゴールした。 (兵庫県：尼崎の森中央緑地スポーツ健康推進施設)
水泳 成年女子 100m平泳ぎ	第3位	H18.10.4	三輪 芳美 (早稲田大学4年)		予選3組で1位通過の三輪は、国体3連覇に挑む力泳を見せたが、北川(埼玉)・田村(千葉)に遅れをとって3位にとどまった。 (兵庫県：尼崎の森中央緑地スポーツ健康推進施設)
自転車競技 男子 4km団体追抜	優勝	H18.10.5	岐阜選抜 青木 中島 川西 不破		今回から本種目は、成年と少年が一本化となった。雨の悪条件の中、4名はチームワークよく前半から積極的にペースを上げる作戦に出た。チーム全体が終始快走を続け、対戦相手の福島県チームを圧倒して優勝した。 (兵庫県：県立明石公園自転車競技場)
自転車競技 少年男子 4km速度競走	優勝	H18.10.5	横関 裕樹 (岐南工業高校3年)		山崎監督の指示により、最後の2周回まで後方で自重した横関は、一気のスパートで集団を抜け出して、規定の先頭責任を2回果たしながらゴールし、栄冠を勝ち取った。(兵庫県：県立明石公園自転車競技場)
空手道 成年男子 組手団体	優勝	H18.10.3	岐阜選抜 加藤 松久玄 松久功		準決勝で大阪府を2-1で下して迎えた決勝戦は、岡山県との対戦となった。先鋒の加藤が敗れた後、中堅の松久功は9-1と圧勝した。大将の松久玄はプレッシャーに負けずに冷静に戦った結果、2対1で岡山県を破り栄冠に輝いた。(兵庫県：豊岡市立出石中学校体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第61回 国民体育大会 (のじぎく兵庫国体) 空手道 成年男子組手 個人重量級	優勝	H18.10.3	松久 功 (エヌケーシー)		全出場者の中で実力が突出している松久は、準決勝の角田(高知)、決勝の田島(兵庫)ともに寄せ付けず、いずれの試合も8ポイント以上の大差を付けて、試合時間終了の3分を待たずに圧勝した。 (兵庫県：豊岡市立出石中学校体育館)
レスリング 成年男子 フリースタイル74kg級	第3位	H18.10.2	中筋 祐太 (大垣日大高非講)		準決勝は、0 - 0で延長にもつれこんだ。中筋は、ポイントスで2度も攻撃優先権を得ながら、30秒間相手に守りきられて2 - 1で敗れ、3位となった。 (兵庫県：猪名川町文化体育館)
レスリング 成年男子 グレコ-roman84kg級	第2位	H18.10.4	加納 篤 (加納建築)		8年連続出場のうち、優勝2度の加納だが、今春より家業を継いだため、練習が激減していた。これまでの「攻め」から「守り」にスタイルを変えて挑み、粘り強く一戦ずつ勝ち抜くも、決勝では鶴巻(山形)に0 - 2で敗れ、準優勝となった。 (兵庫県：猪名川町文化体育館)
レスリング 少年男子 フリースタイル84kg級	第2位	H18.10.2	鈴木 聖二 (岐南工業高校3年)		選抜大会、インターハイに続き、永田(京都)と3度目の決勝対決となった。第1ピリオドは鈴木が3 - 0で先取したが、以後の2ピリオドを連取されて惜敗した。 (兵庫県：猪名川中学校体育館)
レスリング 少年男子 フリースタイル50kg級	第2位	H18.10.2	清水 早伸 (岐南工業高校3年)		清水は予選から好調で、初戦から圧勝を重ねた。準決勝ではインターハイで敗れた丸山(山口)を倒して決勝に進んだ。決勝は岩永(長崎)と激闘の末、延長のポイントスで相手に攻撃優先権を奪われて惜敗した。 (兵庫県：猪名川中学校体育館)
レスリング 少年男子 グレコ-roman96kg級	優勝	H18.10.4	伊藤 信明 (加茂農林高校3年)		8月末の全国グレコ選手権で、左足首を捻挫した伊藤は、スタイルを変えて寝技主体の作戦に出た。ポイントを失うと焦って自滅する今までの悪い癖は影を潜め、高い身体能力から繰り出すローリングで着実にポイントを重ね、決勝では、金沢(岩手)を2 - 0で破り、念願の日本一を勝ち取った。(兵庫県：猪名川中学校体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第61回 国民体育大会 (のじぎく兵庫国体) ライフル射撃 成年女子 B R T 60W	優勝	H18.10.1	森 貴誉乃 平野総合病院		60発を撃つ予選では636.0点をマークして、全体のトップで通過した。決勝の10発においても、決勝進出者中最高の105.8点を挙げ、合計得点741.8点で2位に1.3点の大差を付け圧勝した。 (大阪府：能勢町国体記念スポーツセンター)
ボクシング 少年男子 フライ級	第3位	H18.10.4	河田 千誉 (岐阜工業高校3年)		好調の河田は、準々決勝で福田(群馬)に2回RSCで勝ち、準決勝に臨んだ。重田(熊本)を相手に善戦したが、3回RSCで敗れて3位となった。 (兵庫県：西宮市立中央体育館)
ボクシング 少年男子 ウェルター級	第2位	H18.10.5	宇佐美 太志 (岐阜工業高校3年)		インターハイ3位の実績を持つ宇佐美だが、怪我等で体調は万全ではなかった。準々決勝・準決勝の相手ををいずれもRSCで退けて決勝に臨んだが、高田(福島)に判定で敗れた。(兵庫県：西宮市立中央体育館)
ボウリング 成年男子 個人ユース(29歳以下)	優勝	H18.10.3	高橋 俊彦 (ACランド)		レーンコンディションが読みづらく、ほとんどの選手のスコアが伸び悩む中、予選、決勝を合わせて9ゲームを戦い、1991のスコアをマークした。常にトップをキープし、2位に55点の大差をつける圧勝であった。 (兵庫県：神戸六甲ボウル)
バドミントン 成年女子	第3位	H18.10.4	岐阜選抜 後藤 脇田 吉村		岐阜選抜チームは、連覇を目指して臨んだが、準決勝で埼玉に2-1で敗れて3位決定戦に回った。対戦相手の宮城県選手の負傷による棄権で3位が確定した。 (兵庫県：宝塚市立総合体育館)
バスケットボール 少年女子	第3位	H18.10.4	岐阜選抜		岐阜女子高を中心とした岐阜選抜チームは、初戦から準々決勝の福岡戦まで快進撃を続けた。準決勝の神奈川戦では「ディフェンスで流れをつかむ」という、岐阜女子高のお家芸のお株を奪われるプレーに行く手を阻まれて、61-88で敗退した。 (兵庫県：神戸総合運動公園体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第61回国民体育大会 (のじぎく兵庫国体) 公開競技 高等学校野球競技 (軟式)	第3位	H18.10.3	中京高校		準々決勝から登場した中京高校は、育英(兵庫)に2 - 2で引き分け、抽選により準決勝へ駒を進めた。広陵(広島)との準決勝はまたもや0 - 0で引き分けたが、今度は抽選によって敗退し、3位となった。 (兵庫県：春日総合運動公園)
陸上 成年男子 400m	優勝	H18.10.9	向井 裕紀弘 (岐阜ES事業団)		夏場の走りこみで、走力をつけて臨んだ今大会は、向井自身が予選・準決勝で好調さを自覚していた。決勝では、「前半自重して後半スパート」の作戦が的中し、45秒68の自己新で国体初制覇を飾った。 (兵庫県：神戸総合運動公園陸上競技場)
陸上 成年女子 400m	第3位	H18.10.8	青木 沙弥佳 (福島大学2年)		故障により、昨冬から思うように練習ができず、今シーズンは好記録が出せなかった青木だったが、兵庫入りしてからは環境が変わり、調子は上向きであった。決勝では力走して自らの持つ県記録を0秒11更新し、53秒85で3位入賞を果たした。 (兵庫県：神戸総合運動公園陸上競技場)
ホッケー 成年女子	優勝	H18.10.9	岐阜選抜		成年女子は優勝候補が次々と敗れる、波乱の展開となった。岐阜選抜チームは人工芝コートに的確に対応して、決勝でも岩手を5 - 0で破る圧倒的な強さを見せ、2連覇を達成した。(兵庫県：篠山市立篠山総合スポーツセンター)
ホッケー 少年男子	優勝	H18.10.10	岐阜総合学園高校		準決勝で強豪の奈良選抜を倒して勢いに乗った岐阜県チームは、豊富な運動量で埼玉選抜を3 - 0で下して、5年ぶり4度目の優勝を果たした。 (兵庫県：篠山市立西紀運動公園)
ホッケー 少年女子	第2位	H18.10.9	岐阜各務野高校		準決勝まで順調に勝ちあがった岐阜県チームは、王座奪還を狙って決勝に臨んだ。島根県チームに対して、押し気味に試合を進めたが、慣れない天然芝にペナルティがかみ合わず2 - 3で惜敗して準優勝となった。 (兵庫県：篠山市立西紀運動公園)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第61回 国民体育大会 (のじぎく兵庫国体) 卓球 成年女子	優勝	H18.10.10	十六銀行		団体戦は4単1複を3人で戦う。準決勝で地元兵庫を3-0で退けた岐阜県チームは、熊本との対戦となった決勝では不調の河村を温存して、田勢と潮崎でダブル2試合を先取した。ダブル敗戦の後、好調の田勢が最後のシングルで勝ち、3-1で見事に優勝し2連覇を果たした。 (兵庫県：豊岡市立総合体育館)
ゴルフ 女子	優勝	H18.10.6~7	岐阜選抜 服部 本多 土岐		好調の3選手は、初日トータル215の1アンダーで首位に立った。2日目は強い雨と風に悩まされながら、粘り強いゴルフを展開して233にまとめ、通算448で地元兵庫と優勝を分け合った。(兵庫県：宝塚市大宝塚ゴルフクラブ)
カーン 成年男子 ワイルドスローム25ゲート	第2位	H18.10.7	加藤 哲平 (丸山木材工業(株))		1本目は普段より冷静に競技に臨んで、大きなミスもなく全体の1位で終了した。優勝を賭けた2本目でラインが崩れ、惜しくも2位にとどまった。 (兵庫県：宍粟市波賀町引原川加-特設会場)
カーン 成年男子 ワイルドスローム15ゲート	優勝	H18.10.8	加藤 哲平 (丸山木材工業(株))		前日の25ゲートと同じく、1本目を1位で通過した。2本目も、難所のゲートを慎重に通過するなど、完璧なレースを展開し、大会ベストタイムをマークした。前日の雪辱を果たす、国体初優勝となった。 (兵庫県：宍粟市波賀町引原川加-特設会場)
馬術 成年女子 トップスコア競技	優勝	H18.10.8	中村 有里 (笠松ライディングスクール)		トップスコア競技は、1分間に難易度の高い障害をどれだけ多く越えられるかを競う競技である。馬(チェストル)の体調がよく中村は的確にコースの計算をしながらポイントを重ね、最高得点の自己ベスト1300点をあげて優勝した。(兵庫県：三木市三木ホースランドパーク)
馬術 成年女子 標準障害飛越競技	第2位	H18.10.9	中村 有里 (笠松ライディングスクール)		中村は、チェストルに乗り、2連覇と2冠をかけて出場したが、ラタミール・ベスに乗る川口(埼玉)に敗れて惜しくも準優勝となった。 (兵庫県：三木市三木ホースランドパーク)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第18回世界空手道選手権大会 男子個人組手 75kg	第3位	H18.10.8~17	松久 功 (エヌケーシー)		のじぎく兵庫国体の個人重量級と団体を制した松久は、優勝を目標に参戦した。順位は2年前の5位を上回ったが過密な大会日程や時差の影響からか、力及ばず3位にとどまった。 (フィンランド共和国：タンペレ市)
第24回全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権大会	優勝	H18.10.18~19	鎌田 幸市 (岐阜本巣) 酒井 進 (岐阜北) 佐分利忠和 (富加)		1日目は3人のトータルスコア220で、2位に4打差の首位で折り返した。2日目の最終日は、3名とも前半スコアを落としたが、互いに励まして後半盛り返し、追い上げてきた宮崎県チームを振り切って初優勝した。鎌田は通算144のスコアで、個人の部3位入賞を果たした。(大分県：大分市大分東急GC)
第24回全日本ジュニア新体操選手権大会 女子個人総合	第3位	H18.10.21~22	横山 加奈 NPOぎふ新体操クラブ		横山は、ロープ11.500(3位) フープ11.655(2位) クラブ10.875(4位) リボン10.025(5位)と、各種目で安定した演技を披露して、着実に得点を積み重ね、個人総合の部3位入賞を果たした。併せて、種目別においてもロープ及びフープの二種目で上位入賞を果たした。 (東京都：国立代々木第一体育館)
ロープ	第3位	H18.10.21~22	横山 加奈 NPOぎふ新体操クラブ		
フープ	第2位	H18.10.21~22	横山 加奈 NPOぎふ新体操クラブ		
第54回全日本実業団弓道大会 女子近的 個人の部	優勝	H18.10.22	水野 聖子 イビデン		この大会は、22都道府県、61事業所116チーム800人の参加で開催され、県内からイビデンが出場した。1人4射で競う近的で、水野は25点をマークし、2位と1点差で優勝した。同種目で西尾も健闘し、3位入賞を果たした。(東京都：明治神宮至誠館)
女子近的 個人の部	第3位	H18.10.22	西尾 知子 イビデン		
第27回全日本社会人ホッケー選手権大会 女子	優勝	H18.10.25	ソニー宮		ソニー宮は、準決勝でHFC-HANNO(埼玉)を2-0で破って決勝に進んだ。決勝では、南都銀行(奈良)を相手に前半2点を先取り優位に立ったが、後半に連続PCなどで攻め込まれた。しかし、失点を終了間際の1点に抑えて2年ぶり16度目の優勝を果たした。 (秋田県：横手市十字陸上競技場他)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第48回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会 男子コンパウンド	優勝	H18.10.29	山田 彰 (トーカイ)		本年は全国規模の大会で優勝がなかった山田は、普段より気合を入れてこの大会に出場した。予選を1360点でトップ通過し、続く決勝トーナメントにおいても、風に悩まされながら安定した実力を発揮して、7年ぶり5度目の優勝を飾った。 (山口県：山口市山口南総合センター)
第57回全日本弓道遠的選手権大会 男子の部(24射)	第3位	H18.10.29	宇野 剛由 (今仙電気製作所)		本年度兵庫のじぎく国体に、本県代表として出場した宇野は本大会においてよく健闘して、2位に1点差の第3位に入賞を果たした。(東京都：明治神宮至誠館)
第90回日本陸上競技選手権リレー大会 女子1600mリレー	優勝	H18.10.29	青木 沙弥佳 (福島大学2年) 栗本・松田・丹野	岐阜卓商高卒	第1走者の青木は、「完全燃焼」の快調な走りを見せ、トップで第2走者の栗本につないだ。続く松田、丹野が2位以下との差を広げて、完勝した。福島大は、400mリレーと合わせて、2種目で7連覇を遂げた。 (神奈川県：横浜市日産スタジアム)
第2回コソトワールドカップ 男子型 12-14歳	優勝	H18.10.27 (現地時間)	川瀬 直文 (茜部小6年)		2年に1回開催される同大会で、川瀬は初出場ながら、緊張することなく、練習どおりの動きを披露して見事優勝した。 (スペイン：バルセロナ シェーシェー-ツェル)
	女子型 12-14歳	第3位	H18.10.27 (現地時間)	伊藤 麻莉子 (茜部小6年)	
平成18年度全日本卓球選手権 団体の部 女子	第3位	H18.10.29	十六銀行		十六銀行チームは、予選Cグループのリーグ戦を、無敗の1位で通過して決勝トーナメントに進んだが、準決勝で中国電力に3-2で敗れて、決勝進出を逃し3位となった。 (秋田県：鹿角市記念スポーツセンター)